

第18期 「京都教師塾」

塾生通信

学びの広場

令和5年10月28日
京都教師塾通信
No.2

京都市教育委員会
教員養成支援室

第18期京都教師塾 入塾式

第18期京都教師塾は入塾者200名でスタートしました。10月14日に行った入塾式は163名の塾生が、また20日に行った補講には24名の塾生が参加しました。緊張した様子も見られましたが、教師になる夢をかなえるために頑張っていこうという前向きな姿勢が伝わってきました。

希望や期待だけではなく、心の中には、不安や迷いもあるかと思います。しかし、皆さんは一步前に踏み出しました。卒塾を迎える7ヶ月後には、より成長した自分自身に出会えるように、学びを積み重ねていきましょう。教師塾スタッフ一同、皆さんの学びを心から応援しています。



補講における入塾式



第1回京都市教育学講座【対談】

「教師に求めるもの ～京都教師塾開講にあたって～」

荒瀬 克己 中央教育審議会長・指導部顧問
東良 雅人 総合教育センター指導室長



入塾式に続いて、京都市教育学講座がスタートしました。初回となる今回は対談形式で、今、求められている学校教育や子どもたちに育むべき資質・能力、または、教師に必要な資質・能力や役割についてお話いただきました。中央教育審議会の答申に挙げられているキーワードにふれつつ、教師塾体験会アンケートの具体的な記述にも関連付けながら、「学ぶこと」の意味や、子どもだけでなく教師としての自分自身の成長の在り方等について見つめ直すことの大切さを強調されました。また、教職を目指す中で、期待と併せて不安も抱いている塾生に対し、だからこそ学び続ける価値があるというエールもいただきました。

初めての分散会では、「講義等からの学び・学校現場で取り組みたいこと」「今の自分の課題」をテーマに、グループ協議をしました。これからの社会を担う子どもの力を育むために、どのような教師像を目指すのか、教師塾で何を学びたいのか等について、活発に話し合う様子が見られました。また、レポートには、全体会や分散会を通じて、教育に対する新たな気づきが得られたことを書く塾生も多くいました。教師を目指す中で様々な試練もあるかもしれませんが、経験豊富なグループアドバイザーの先生方、同じ志をもつ心強い仲間と共に、学び続けていきましょう。



1組



2組



このコーナーでは、「レポート集」に綴られたすばらしい学びの1ページを紹介します。ぜひ、仲間の学びにふれてみてください。



第1回京都市教育学講座【対談】

「教師に求めるもの～京都教師塾開講にあたって～」を受講して

本日、第1回目の講座を受けて令和3年答申で示された、「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿でも記載されている「学びを支援する伴走者」という言葉が深く印象に残った。「子どもたちに寄り添う」といった言葉は何度も聞いたことがあるが、あえて「伴走者」と言い換えていたのが新鮮であった。私の教師像の中には、「子どもたちと共に学び、成長し続ける教師」というものがある。子どもたちと学び、成長し続けるためには、やはりこの「伴走者」というワードがとても重要になってくると考える。応援するだけではなく、自分も子どもたちと共に走ることで見てくる景色がある。伴走者になりながら、行き来のある学びの相似形を行うことで双方に喜びをもたらすのではないだろうか。初めは伴走される側が多いかもしれないが、徐々に誰かの伴走をする側へと変わっていきたい。この講座を受け、改めてボランティア先の子どもたちにできることはないだろうかと考えた。教師になる身として未熟者ではあるが、子どもたちのことを心から想い、一緒に走り続けることはできる。今、私ができる最大限のことを子どもたちにしていきたい。子どもたちと過ごす中で、一緒に問いをもって考え、新しいことに発見し、学び合える関係でありたい。私が本日の講座で考えた「教師に求めるもの」とは、一人一人の子どもを徹底的に大切に、多様な子どもを誰一人残さず、全員が知・徳・体の生きる力を育めるよう伴走者となり、子どもたちから学びながら教師も成長していくことである。少しずつでもそのような教師に近づけるよう、本日の講座を胸に留めると共に、今後の講座やボランティア先から学び、生かしていきたい。

～塾生のレポートより～

入塾おめでとうございます。これからの7カ月間はあっという間です。計画的に学びを進め深めていってください。必ず力がつきます！精一杯サポートします。塾やその他のこと、何でも気軽に声をかけたりメールで伝えたりしてくださいね。本日の講座の内容とこれまであなたがもっていた教師像が重なり前進しましたね。この後の講座を受けてさらに前進、具体化されると思います。すぐにボランティアでできること、今何ができるかを考えたところが素晴らしいです。「子どもたちのことを心から想う」こう言えるあなたはきっと愛情あふれる先生になれると思います。頑張りましょう。応援します！

～レポート担当スタッフからのコメント～



4組



5組



6組



7組



8組

